

宮城県感染症発生動向調査情報
2025.4.14 ~ 2025.4.20 - 第16週 -

令和7年04月24日発行

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾 病		保 健 所					仙台市	宮 城 県(含む仙台市)	
		仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計
急性呼吸器 感染症定点	急性呼吸器感染症*1	574 114.80	436 48.44	700 140.00	358 71.60	234 58.50	1671 64.27	3973 73.57	7,595
	インフルエンザ*2	12 2.40	12 1.33	18 3.60	2 0.40	2 0.50	43 1.65	89 1.65	12,319
	新型コロナウイルス感染症*2	16 3.20	11 1.22	10 2.00	5 1.00	5 1.25	41 1.58	88 1.63	7,958
小児科定点	RSウイルス感染症*2	3 1.50	2 0.40	1 0.33	3 1.00		15 1.00	24 0.80	544
	咽頭結膜熱*2		3 0.60	4 1.33			9 0.60	16 0.53	354
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎*2	12 6.00	33 6.60	7 2.33	19 6.33	1 0.50	33 2.20	105 3.50	1,861
	感染性胃腸炎	25 12.50	17 3.40	15 5.00	8 2.67		91 6.07	156 5.20	4,681
	水痘		1 0.20		2 0.67	1 0.50	6 0.40	10 0.33	215
	手足口病	1 0.50			1 0.33			2 0.07	73
	伝染性紅斑	5 2.50	3 0.60	2 0.67			45 3.00	55 1.83	1,201
	突発性発しん	1 0.50	2 0.40	1 0.33	1 0.33	1 0.50	3 0.20	9 0.30	172
	ヘルパンギーナ*2							0 0.00	1
	流行性耳下腺炎	1 0.50		1 0.33			2 0.13	4 0.13	40
眼科定点	急性出血性結膜炎						1 0.17	1 0.08	2
	流行性角結膜炎						8 1.33	8 0.67	99
基幹定点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)						1 0.20	1 0.10	7
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0 0.00	1
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)							0 0.00	2
	マイコプラズマ肺炎			1 1.00		1 1.00		2 0.20	51
	無菌性髄膜炎							0 0.00	2
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)			1		2			
	川崎病			1	1				
	不明発疹症				4		1		

*1 令和7年4月7日より、定点医療機関からの急性呼吸器感染症患者数の報告が始まりました。急性呼吸器感染症は、急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原体による症候群の総称です。

*2 急性呼吸器感染症に含まれる感染症

※ 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 4例

※ 今週の新型コロナウイルス感染症による入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告)18例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(確定例)

大崎管内 男性1名

仙台管内 男児1名※

3類感染症: 細菌性赤痢

塩釜管内 男性1名

腸管出血性大腸菌感染症

塩釜管内 女性1名(O型不明)

仙台管内 男性1名(O26)

4類感染症: E型肝炎

仙台管内 男性1名

レジオネラ症

塩釜管内 女性1名(第11週)

5類感染症: 梅毒

塩釜管内 男性1名(第15週)

仙台管内 男性3名

百日咳

塩釜管内 男性2名、女性1名

大崎管内 男性2名

仙台管内 男性1名

女性1名(第15週)、女性3名、女児1名※

※男児、女児は6歳未満

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

検出情報はあります。

【新型コロナウイルス ゲノム解析結果】

解析結果は下記URLを参照ください。

<https://www.pref.miyagi.jp/site/covid-19/02-02.html>

参考 ～仙台医療センターウイルスセンターウイルス分離情報～

検査結果は下記URLを参照ください。

<https://nsmc.hosp.go.jp/Subject/26/virus/weekly.html>

4. 今週のコメント

【百日咳】

10例の報告があり(第15週さかのぼり報告を除く。)、2025年の累計は28例になりました。家庭内での感染例も報告されています。かぜ様症状で始まり、年齢が小さいほど症状は多様で、乳児期早期では、特徴的な咳がなく、単に息を止めているような無呼吸発作からチアノーゼ(顔色や唇の色や爪の色が紫色に見えること。)、けいれん、呼吸停止と進展することがあります。また、感染は小児に限らず、全ての年齢層が感染する可能性があります。百日咳ワクチンの免疫効果は徐々に減弱するため、大人でワクチン接種歴がある方でも注意が必要です。世代間の感染にも注意してください。

第16週報告10例の年齢区分

0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
1	0	0	4	2	0	1	0	1	0	0	1

【感染性胃腸炎】

仙南管内では、前週から定点医療機関あたりの患者報告数が11.5減少しました。依然、多くの患者が報告されており、警戒が必要です。

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

令和7年第15週から、国の基準が見直されるまでの間、警報開始／継続基準値及び注意警報開始基準値については参考値として取り扱います。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228

FAX 022-256-3362

HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県保健福祉部疾病・感染症対策課

電話 022-211-3644

宮城県定点週報告対象疾病の推移

